

2024 年度秋季大会松野賞の受賞者決まる

2024 年度秋季大会において、松野賞候補者として口頭発表およびポスター発表合わせて 144 名のエントリーがあった。松野賞受賞者選定規程に基づき、27 名の委員の合議による厳正なる審査・選考を行った結果、発表が特に優秀であった下記 33 名(五十音順)に松野賞を授与することに決定した。

赤見彰一 (筑波大学)

発表題目：「ベイズ最適化による局所粒子フィルタのパラメータ推定」

浅井颯馬 (北海道大学)

発表題目：「マルチグリッド法の導入による SCALE モデルの雷モデルの高速化」

朝妻勇貴 (筑波大学)

発表題目：「冬季における亜熱帯ジェット上の波列に対する北大西洋振動と熱帯インド洋－西太平洋の対流活動の複合影響」

安倍啓貴 (筑波大学)

発表題目：「さまざまな気圧配置における六甲おろしの三次元構造」

伊與田光騎 (富山県立大学)

発表題目：「全天候型ドローンを用いて観測した降水粒子画像の解析手法」

岩井直太 (北海道大学)

発表題目：「数値モデルを用いた航空機被雷危険領域の早期予測情報提供可能へ向けた試み」

上野和雅 (東京大学)

発表題目：「雲粒衝突併合過程の計算における量子コンピュータ活用」

上好慧 (富山大学)

発表題目：「2 種類の対流結合西進慣性重力波の存在について」

大野哲弥 (筑波大学)

発表題目：「寿都だしの気候学的特徴と 3 次元構造」

小田凱翔（九州大学）

発表題目：「中部日本・西日本に大雨をもたらす梅雨期メソ対流系の組織化形態」

小原慧一（名古屋大学）

発表題目：「高周波マイクロ波放射計と雲レーダの複合利用による熱帯対流雲の雲氷量・有効粒径推定」

後藤悠介（名古屋大学）

発表題目：「地上 X 帯レーダの鉛直観測を利用した雨滴粒径分布の推定」

小畑佑介（九州大学）

発表題目：「福岡平野周辺における夏季積乱雲の発生環境場」

坂本律（新潟大学）

発表題目：「熱帯インド洋における Climatological ISO の維持メカニズム」

杉山玄己（北海道大学）

発表題目：「小型衛星からの近赤外多波長撮像観測による水蒸気量の推定手法の開発」

鈴木信康（筑波大学）

発表題目：「寒候期に発生する房総不連続線の移動メカニズム」

高嶋亮（筑波大学）

発表題目：「日本の都市における Local Climate Zone マップの作成」

田村望海（名古屋大学）

発表題目：「台風の眼内部のドロップゾンデ同化による内部構造の再現性改善」

中井大（京都工芸繊維大学）

発表題目：「デジタルホログラフィによるエアロゾル粒子の3次元高速度イメージングおよび衝突観測」

中田英太郎（北海道大学）

発表題目：「台風に対する海面水温応答についての人工衛星観測プロダクト間の比較」

濱田慧治（富山大学）

発表題目：「静止気象衛星ひまわり地球周縁部観測を用いた中層大気オゾンの検出」

日置真太郎（富山大学）

発表題目：「太平洋 ITCZ における対流活発域の季節進行に伴う東西移動」

平岩純（東京大学）

発表題目：「地球温暖化時の熱帯太平洋東西 SST 勾配の変化に関する理論的考察」

平田憲（University of Colorado Boulder）

発表題目：「地上観測と高解像度大気モデルに基づいた浅い対流雲近傍のエアロゾル直接放射効果の評価」

藤井省伍（九州大学）

発表題目：「気候モデルによる極域の海塩エアロゾルのシミュレーション」

堀口明友美（気象大学校）

発表題目：「UAS 搭載用小型測器を用いた低コスト係留気球観測手法の検討」

前田優樹（東京大学）

発表題目：「深層学習を用いた北半球夏季季節内振動（BSISO）の予測と要因分析」

眞砂海斗（京都大学）

発表題目：「ドローンを用いた斜面冷気流の観測(2)」

松本現（筑波大学）

発表題目：「人工芝グラウンドにおける暑熱環境評価」

溝渕隼也（千葉大学）

発表題目：「MAX-DOAS 法による大気下層水蒸気濃度の水平不均一性の長期連続観測」

武藤真璃（お茶の水女子大学）

発表題目：「熱帯中緯度境界線とジェット気流の変動が日本の春季降雨に及ぼす影響」

Yifan Li（東京大学）

発表題目：「Evaluation of the Isotope-enabled Fully Coupled Model MIROC6-iso」

若尾和哉（北海道大学）

発表題目：「水蒸気輸送を担う大気循環場の出現頻度が九州地方で発生する停滞性の強雨の
経年変動に与える影響」